

成果指標				
成果指標	主要水防訓練出動人員／水防訓練出動予定人員市水防訓練(H25 予定:200人、出動:154人)、重信川流域合同訓練:(H25 予定:30人、出動:0人)			
指標設定の考え方	訓練参加団員の参加率により、訓練出動手当のコストパフォーマンスをみることができる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	100	100	100	100
実績	96	67	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	水害時により効果的・効率的な活動が実施できるよう、訓練内容の充実を図る必要がある。また、消防団員はもとより、自主防災会員の水防に対するスキルを向上させる必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	重信川流域合同水防広報訓練は今年度は実施されなかったため、これを除くと成果指標の実績は77%となるが、昨年度よりも低下していることに変わらない。出動手当は、水防出動手当と訓練出動手当からなるが、訓練出動手当は訓練内容と参加者の参画度合いによって支出効果に差異が生じる。そのため実効性の高い訓練内容を志向していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	団員報酬額及び手当額については、見直しの時期にきている。他市町の状況も参考に検討のこと。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。